

ガーナ原子力発電先端安全技術科学視察団の招へい

在京ガーナ共和国原子力委員会サムエル委員長より原子力発電導入のための基盤整備支援のための研修要請があった。この研修の一環として、日本の先端原子力発電安全技術を視察していただくため技術科学視察団を招へいた。

内容

○期間・場所:2022年10月15日(土)～10月21日(金) 7日間

○被招へい者:ガーナ原子力委員会(GAEC)、ガーナ原子力発電社(NPG)、原子力組織(NPI)等で同国への原子力発電導入を推進する幹部10名

○概要

視察先は、柏崎原子力広報センター、柏崎刈羽原子力発電所、原電東海第二発電所、茨城県科学館、原子力メーカー、経産省など。



東京電力柏崎刈羽原子力発電所にて

経産省訪問では、ベンジャミン前 GAEC 委員長から、視察団を代表して、経産省に対し、本視察の支援に深く謝意が表明された。視察団から、日本政府が原子力人材育成などの基盤整備支援の協力を継続することへの強い期待が示された。

以上から、今回の視察団の受け入れをとおしてガーナへ原子力発電導入のための基盤整備支援に協力できたものとする。ガーナの原子力発電導入関係機関との信頼関係を更に深めることができた。



経産省にて、駐日ガーナ大使 Mrs. Genevieve Apaloo、ガーナ視察団一行